

第10回埼玉緩和薬物療法研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2015年9月26日(土) 14:00～16:30

開催場所： 埼玉医科大学かわごえクリニック 6階会議室

講演1：「癌疼痛治療剤 フェンタニル舌下錠」

協和発酵キリン株式会社

教育講演：『痛みのメカニズムと鎮痛薬の創薬～緩和ケアに必要な痛みの基礎知識～』

日本薬科大学 教授 櫻田 誓 先生

特別講演：『地域包括ケアと在宅緩和ケア：「二兎を追う者は一兎も得ず」か?』

筑波メディカルセンター病院 緩和医療科 志真 泰夫 先生

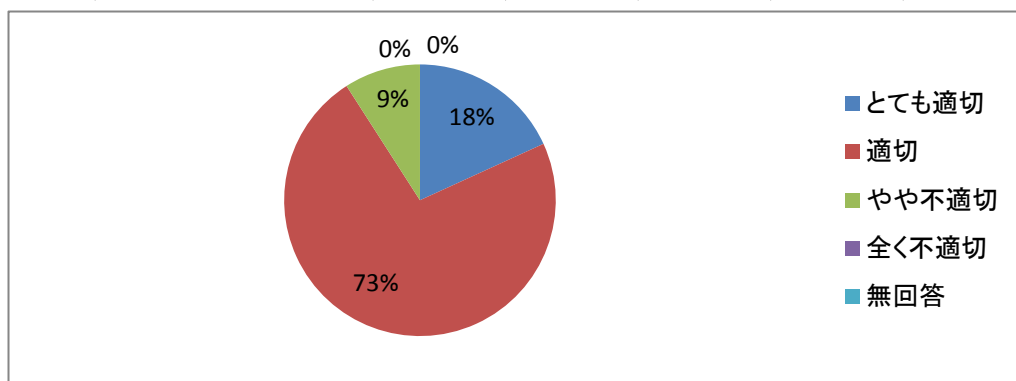
総合評点
3.1
(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり(枚)
48	44	92%	20

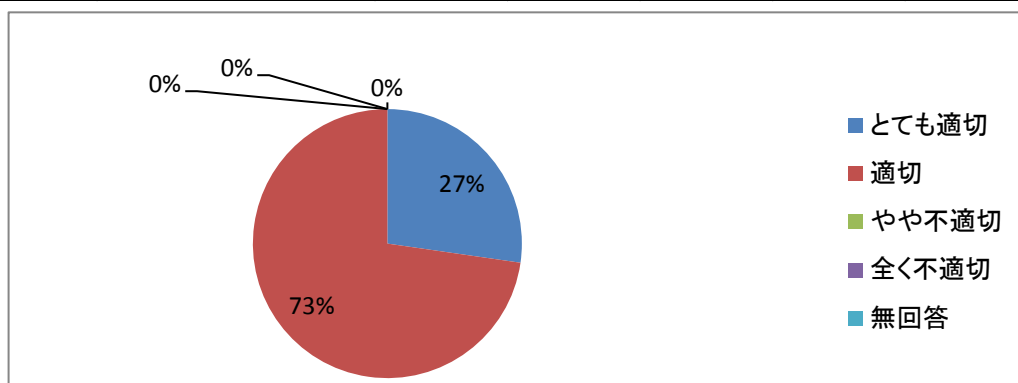
評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

1. 講演テーマについて

1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	8	32	4	0	0	3.1

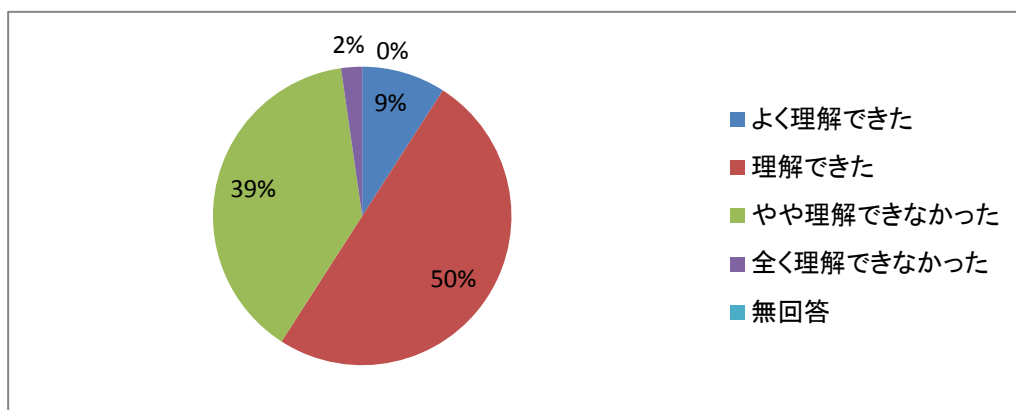


1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	12	32	0	0	0	3.3

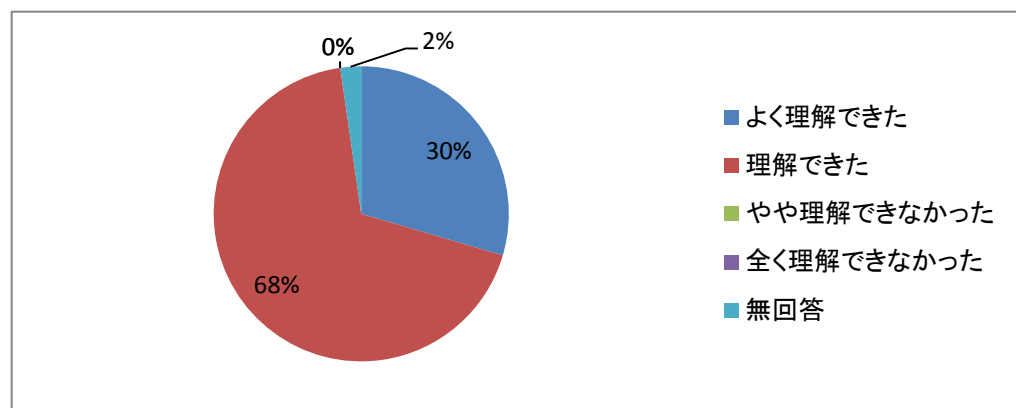


2. 講演内容について

2-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	4	22	17	1	0	2.7

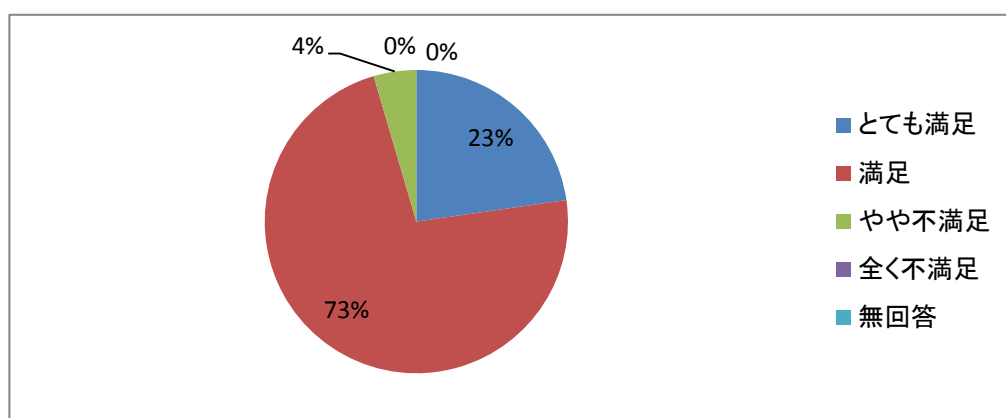


2-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
	13	30	0	0	1	3.3



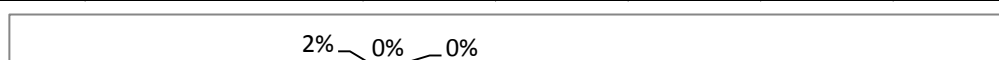
3. 本研修会の印象について

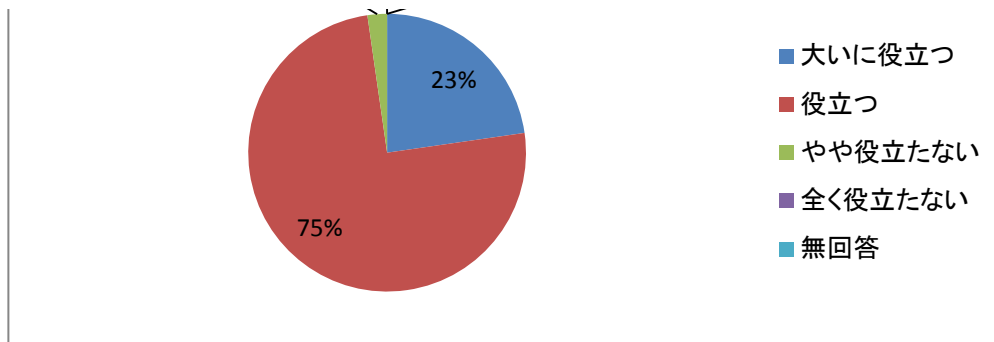
3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	10	32	2	0	0	3.2



4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	10	33	1	0	0	3.2





アンケート意見（20枚）

1. 講演テーマについて		
1-①	学術的な内容だったがとても面白かった	1
	臨床より講演がよかった	1
	慢性疼痛のメカニズムについては、受容体含め改めて確認することができた	1
	基礎知識ならば、痛みのメカニズム受容体の基礎からやらないと、薬理学講義から離れてしまったものにとっては難しすぎると思う	1
	現場で役に立たない内容が多すぎる	1
1-②	行政等多くのサービスがあつてこそ、包括ケアは成り立つということがとても参考になった	1
	今後の方向性について考えさせられた	1
2. 講演内容について		
2-①	基礎的な事から話してくれたので理解できた	1
	マニアックすぎる	1
	前半は復習という感じがあり分かりやすかった。後半は慌ただしかったのでもう少しじっくり拝聴したかった	1
	創薬の点に関しては内容が難しかった	1
	基礎研究の内容であったためやや理解できなかった	1
	基礎的な知識が自分自身に欠けているためやや理解できなかった	2
	高度な内容だったので理解できなかった	1
	勉強不足のため難しかった	1
	後半が難しかった	1
	よく分からなかった	1
2-②	よく分かった	1
	非常に具体的で分かりやすかった	1
3. 本研修会の全体としての印象		
	学術的な内容より制度的な内容が勉強になった	1
	教育講演は難しかった。特別講演は知っている内容が多かった	1
	教授の自己満足かと思った	1
5. 今後取り上げてほしいテーマについて		
	麻薬と法律	1
	緩和ケアの実際の現場について詳しく	1
	基本的なオピオイドの使い方や症例などを皆で考えられるようなもの	1
	病院から在宅へいく患者について	1
	病院・薬局薬剤師がどのように介入するかを聞いたり、ワークショップ形式で話し合いたい	1
6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望		
	地域包括ケアの概念、考え方が以前よりも理解できた	1
	緩和ケアの知識だけでなく、今後の医療体制も学べて有意義であった	1
	基礎的な知識から地域における緩和の話まで聞くことができ、とても充実した研修会だった	2
	これからどんどん興味を持つ人が増えてくると思うので、繰り返し基礎的な事を教えてほしい	1
	モデル地区ですらうまくいっているわけではないことに驚いた	1